

ひしもにた

議会だより

発行：群馬県下仁田町議会



青倉保育園運動会



がんばれ

あなたと議会を結ぶ

確かな情報と信頼

主な
内容

第3回定例会	2
人口減少非常事態宣言	3
一般質問	4～6
委員会報告	7～9
町民の声	10

平成25年度下仁田町決算が すべて認定されました



不通橋の崩落現場

- ・ 放射性物質汚染対策
- ・ 林道作業道総合整備事業
- ・ 橋梁維持補修
- ・ 公営住宅建設事業
- ・ 中学校空調整備

平成25年度の主な事業

第3回 定例会

平成26年度第3回定例会は、9月9日から19日までの期間、開催されました。今回の定例会は、平成26年度補正予算（第2号）をはじめ、平成25年度決算認定の他19件が提案され、いずれも原案どおり可決・承認されました。また、最終日には追加案件として意見書2件、決議2件が提案されいづれも可決されました。

議案名	備考
下仁田町等公平委員会委員の選任について	全会一致
下仁田町税条例の一部を改正する条例	全会一致
下仁田町福祉医療費の支給に関する条例の一部を改正する条例	全会一致
荒船風穴基金条例	全会一致
平成26年度下仁田町一般会計補正予算（第2号）	全会一致
平成26年度下仁田町国民健康保険特別会計補正予算（第1号）	全会一致
平成26年度下仁田町後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）	全会一致
平成26年度下仁田町介護保険特別会計補正予算（第1号）	全会一致
平成26年度下仁田町浄化槽整備事業特別会計補正予算（第1号）	全会一致
平成26年度下仁田町水道事業会計補正予算（第1号）	全会一致
平成26年度下仁田町ガス事業会計補正予算（第1号）	全会一致
平成25年度下仁田町一般会計歳入歳出決算認定について	賛成多数
平成25年度下仁田町国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について	全会一致
平成25年度下仁田町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について	全会一致
平成25年度下仁田町介護保険特別会計歳入歳出決算認定について	全会一致
平成25年度下仁田町簡易水道事業特別会計歳入歳出決算認定について	全会一致
平成25年度下仁田町浄化槽整備事業特別会計歳入歳出決算認定について	全会一致
平成25年度下仁田町水道事業会計決算認定について	全会一致
平成25年度下仁田町ガス事業会計利益の処分及び決算認定について	全会一致
手話言語法制定を求める意見書	全会一致
2015年NPT再検討会議に向けて日本政府に核兵器全面禁止のための決断と行動を求める意見書	全会一致
人口減少非常事態宣言の決議	全会一致
人口減少対策特別委員会設置に関する決議	全会一致

人口減少非常事態宣言

下仁田町は、昭和30年に下仁田町、青倉村、小坂村、西牧村、馬山村が合併し、当初は人口22,080人だったが、すでに60年を迎えようとしている現在は8,474人となった。その時々状況に対応した施策が行われてきたが、年々人口減少は顕著となり、平成25年3月27日発表の国立社会保障・人口問題研究所による日本の地域別将来推計人口によれば、下仁田町の人口は2040年には4,000人を割り込む推計が示された。

これらを鑑み、町の将来を思慮するとき、ここに「人口減少非常事態宣言」を決議し、若い世代が希望を持ち、安心して結婚や子育てし続けられる地域づくりに取り組むべく、議会に特別委員会を設置し、町の最重要課題と位置づけ対策をとらねばならないことを、ここに宣言する。

平成26年9月19日

下仁田町議会

人口減少特別委員会設置

人口減少対策特別委員会が以下の通り設置されました。

- | | | |
|---|--------|---|
| 1 | 委員会の名称 | 人口減少対策特別委員会 |
| 2 | 目的 | 人口減少対策に関する調査、研究 |
| 3 | 委員 | 委員長 岩崎 正春
副委員長 永井 正之
委員 木暮 弘元、佐藤 勇二、千野 榮治、佐藤 公夫 |
| 4 | 調査期限 | 調査終了まで。 |

一般質問

町政を問う



原 秀男議員

世界遺産登録後の荒船風穴について

市の萱から屋敷にかけての道路計画は

議員 今後の町の拡幅計画は。

画は。

町長 県道ですので町で

整備していくというわけにはいきません。

議員 それではどうする

のですか。

町長 県のほうへ拡幅改良を要望していき、また地域の方々や地権者の判断を求めていきたいと思います。

神津牧場から風穴までの道路計画は

議員 駐車場からの80

0m区間は歩く以外に

方法はないのでしょうか。

町長 バッファゾーン

(保護するためにその

周囲に設けられる利用制限区域)にかかると

で道路の拡幅なり、重機をいれてその土地を動かすということ、文化庁のご意見により非常に難しい状況です。

議員 牧場から風穴まで

の間、なにか電気軌道的な乗り物を考えられたらいかがですか。

町長 風穴はジオパークの一角であります。そ

の角度からすると、簡単に軽装で車で横付けという観点からは、少し違う要素の世界遺産であります。基本は風穴の体感をするところまでは、楽しみながら歩くということを強調し、その気持ちを持つて見学に来ていただくような位置付けにしたい。

風穴施設や周辺の整備について

議員 風穴施設の今後の

計画は。

教育課長 2号風穴の石

積みめの復旧、建屋の復元につきましては、今のところ写真や設計図等々がございませんで、文化庁の許可が得られません。周辺環境についてはこれから整

備委員会で検討して頂く予定です。

町長 杉林については、

まずは所有者、地権者の方々のご理解とご協力を賜るのが第一であります。



荒船風穴課の新設は

議員 産業振興課、教育

課と所管が拡がり過ぎていて、どこで何を管理して行くのか、全く方向性がとれていません。1か所で集中管理ができませんか。

町長 風穴の今後の利活用に関して、町長部局

のほうに専門部署設置ということ、幅広く行財政改革の推進と同時に機構改革を進めていきたい。



荒船風穴



島崎 紘一 議員

町の将来人口は

議員 国立人口問題研究所の2040年町の人口推計は3,847人、減少率56・8%と公表された。この人口予測をどう考えているか。

町長 非常に予想以上の厳しい状況を示唆されたと考えている。

議員 第4次総合計画の最終年度平成28年度の目標人口9,000人とあるが既に8,500人を割っている。人口減少をどこで食い止め何人規模を維持しようとしているのか。

町長 現状から見ると想定が甘かったと言わざるを得ない。町の良さを早めにピックアップして取り組んで行く方向を示したい。

企画財政課長 全課を挙げて今迄の施策に新たなものを盛り込み現在動いている。

議員 具体的な目標数値は。

町長 2040年の推計4千人を切らない施策をしていくのは町を活性化させることだと思っている。

議員 「日本創生会議」の試算によると若年女性の減少率も人口減少と同じ県下でワースト3位、83・7%と発表された。町の定住化対策の取り組みは。

企画財政課長 少子化対策の強化として賃貸住宅援助、保育料の見直し、定住化対策としての職場、生活環境等が

重要であり、総合的に定住化を導き出せるよう検討して行きたい。

議員 具体的な企業誘致雇用拡大政策等の実績は。

企画財政課長 過去10年程企業誘致の実績はありません。誘致に対する用地、工業用水等の確保についての予算措置に講ずる機会を逸しており具体的な動きをしていないのが現状です。

議員 平成25年度事業で町の観光振興ビジョンを策定したが議会への説明は担当課だけであったが全員協議会で全課長出席で行うべきではなかったか。

町長 報告、内容説明が不十分だった事は反省している。議会に発表する前にもう少し協議すべきであった。これから27年度に向けてスピードアップして観光を町の活性化、定住にも結びつけて行くよう努力して参りたい。

議員 策定に対する委

託料192万が10倍、100倍の費用対効果があるよう我々も注目している。具体的に来年度予算に反映できるような形をつくっていただきたい。

次に高齢化・人口減少による地域の役割の担い手不足、行政の傳達機能の低下等々の事態を想定しての今後の

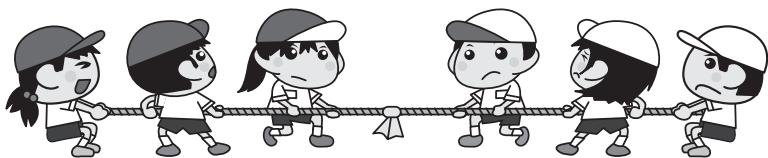
対応は。

総務課長 高齢者世帯の増加、地域としての機能低下による組・班の編成の必要性等考えられ対策として、集落支援助員制度の拡充、実情により町の配布物の直接郵送等検討しなければならぬと考えます。

議員 近年の人口減は人口動態予測を上回る減少率で進んでいる。今後の人口減は即世帯数の減少につながる。迅速な対応と具体的に地域と連携を取って実行する事を提案しておきます。「住んでよかったです」も重要だが「住みたくなる」町づくりに取り組んでいただきたい。



運動会





岩崎 正春議員

町の防災は

議員 防災計画の改定が必要ではないか。

総務課長 現在の町地域防災計画は、平成10年に全面改定したものを使用しているが、現状と整合していない部分も発生し、改定の必要があることは十分承知しております。平成20年には洪水による水害警戒、防御、被害軽減を目的とした、町水防計画の策定もしております。下仁田町地域防災計画は、地域の実情に即し、実効性のある計画とすべく、改定に向けて着手したところで

議員 広島市の土砂災害では、水分を含みにくい真砂土の地盤が約

要であると考えております。

議員 町においても、9カ所の孤立集落が現に発生しております。最大で4日から6日、電気が使えない、外部との交流ができないという、孤立集落という経験をしている町としては、何か対策を早急

に考える必要があるが。

町長 森林環境税をもとに、集落や地域の山林の保全ということの予算を組み込んでいた、だいて、そういった集落に対応する、そんな整備を行っていきたいと考えて提案をしているところですよ。

ジオパークエリアは

議員 下仁田ジオパークのエリアの見直しについて検討中だということよ

うな執行側からの答弁があつたが、見直しの状況とは。

総務課長 風化して真砂土と言われるものに変わる可能性のある。平滑花崗岩が確認されておりますが、真砂土が堆積した地質の分布は非常に少なく、災害の発生源になることは考えにくいとのことですよ。しかし、下仁田町では、急峻な地形であるとか、土石流危険渓流が多く存在することなどから、当町の実情に合った防災対策が必



ジオミニツアー

定住化対策は

議員 Iターン、Uターンによる定住化対策は。

町長 農林業の部門でも後継者の確保、さらには新規就農者の獲得をするという方向で人口減少の解決につながるように、定住化対策等を今、発信していきたく。したがって、農林業部門の政策においても、支援策を立案し、実行することがIターン、Uターンに必要な、たと認識している。

議員 行政組織の縦割りの行政を統括し、横断的に人員の配置あるいは指揮命令系統を整えるために、まちづくり戦略本部な



こんなにやく手づくり体験

町長 庁舎耐震補強工事を実施しておりますが、工事の完成終了後は、この機構改革の内容を充実させる、新たな町長室も設置をして、ご指摘のまちづくり戦略本部の形になるかわかりませんが、それに近い機能を持たせることを検討している。

委員会報告

総務常任委員会

9月17日午前10時から、下仁田町文化ホール研修室で、付託された陳情3件について審査いたしました。集团的自衛権行使を容認する解釈改憲を行わないことを求める意見書採択を求める陳情・「集团的自衛権行使を容認の「閣議決定」を撤回すること」を求める意見書採択を求める陳情書」も提出されており、双方は関連する陳情であるので一括して協議しました。

委員からは、集团的自衛権行使容認の解釈については、すでに閣議決定はされているが、日本が紛争に加わることは反対であり、今後、国会における関連法案の提出も含めて経過を見守る必要があるのではないかとの意見があり、継続審査としました。

次に、「2015年NP T再検討会議に向けて日本政府に核兵器全面禁止のための決断と行動を求める意見書採択の陳情」は、委員から日本は非核三原則を保持する国であり、核兵器全面禁止の立場であると思うとの意見があり、全会一致をもって採択しました。

社会経済常任委員会

9月16日午前10時から文化ホール2階研修室において、審査いたしました。

手話言語法制定を求める意見書提出を求める陳情書を議題とし、手話が音声言語と対等な言語であることを広く国民に広めることは必要である等の意見が出され、慎重審査の結果、全会一致をもって採択しました。

予算決算特別委員会 補正予算・決算を審議

平成26年度下仁田町一般会計補正予算

委員 公民館費の357千円は雪害によると聞いたが場所と金額について。

公民館係長 保健センター北側の屋根です。雪の被害で屋根を修理しました。172,800円の修繕料で保健センターと50%按分して86,400円が公民館分です。他に冷房装置の老朽化で、冷房が漏れて空調機を修理しました。金額は、270千円です。

委員 ふるさとセンター費文化財調査保護事業の中で荒船風穴ジオラマ作成業務委託費約600万円計上されているが、経緯と金額の適正について。

文化財保護係長 群馬県の事業で（仮称）世界遺産センターの設置計画があり、借用しているジオラマを返却しなければならず、その代替としてジオラマを作成するものです。なお、本年度の調査結果を反映させること、西側の風穴の冷風を生む区域も含めるため奥行きが50cmほど大きくなる形で専門業者から見積を取った金額となっております。

委員 有害鳥獣駆除対策は。

農林係長 猿追い払い員の賃金で、当初昨年同様5名分の賃金で計上しましたが、2名から辞職希望があり3名体制でまわしている。3名でも一年間携わって慣れしてきたため、間に合っている状態である。今後2名減でやれそうなため約2,300千

円の減額を計上した。

委員 下仁田町経営体育成支援事業は。

農林係長 本年2月に発生した農業用施設の雪害に対する支援事業で6月の補正予算のときは54人、138施設で申請した。その後本申請をするにあたり最終確認と見積もりの精査をしたところ、10名減って44人、99施設での申請となったため今回の減額となった。

委員 要因は大口の見積もりをしていた農業者が取り下げをしたため、1件で約5,000万円近く減った。理由として鉄骨ハウスを再建した場合の今後の耐用年数14年をクリアするのが難しいため、最小限の補修で続けていくこととなった。また、本申請のときに補助金を切られないように、当初はかなり高い見積りを出してきたが、実際に精査したところかなりの減額となった。



観光案内所

委員 観光費について、積算根拠等を示してもらいたい。

町長 町の観光協会に専門家を招いて町の活性化に結びつける政策です。

議員 補助金増額の内訳は。

商観係長 主に人件費が336万円、活動費が271万円です。

委員 当予算は観光協会

会、こんにやく体験道場の2人分ではなかったか。

産振課長 当初予算はそのようなことを含め観光協会を充実すること

で2人としていた。

町長 法人化されるので法律で報告があるの
で、そのようにしていきたい。

平成25年度下仁田町一般会計

歳入歳出決算認定

【歳入】

委員 教育使用料の施設利用状況は。

生涯学習係長 平成25年度の小学校体育館利用はスポーツ少年団で154回、認定団体で44回です。中学校体育館利用はスポーツ少年団で1回、認定団体で478回、一般利用で32回です。保健体育施設利用は、屋外運動場照明が21回、社会体育館・グラウンド等の利用は認定団体で158回、一般利用で82回、その他に西牧グラウンドはガス管工事の現地事務所及び資材置場として利用がありました。サ

ンスポは一般利用が65回、認定団体の夜間照明利用が65回です。

委員 財産管理費の工事請負費単独事業の内容は。

【歳出】

委員 ウィンドウズXPのサポート終了の対応費用は決算に計上されているか。

情報政策係長 ウィンドウズXPのパソコン

は、購入から5年以上経過し機種が古くなっているため、2月にウィンドウズ7のパソコンに買い替えました。

委員 1ヶ月のリース料を平成25年度決算に計上しています。

委員 災害時の情報収集

の手段としてソーシャル・ネットワーキング・サービス等の利用を考えているか。

情報政策係長 検討してみたいと思います。

委員 財産管理費の町有

林造林事業委託の場所はどこか。

財政係長 吉崎雁平3・0ヘクタールです。学

校建設時に伐採した場所です。

委員 財政管理費の工事請負費単独事業の内容は。

財政係長 旧土谷沢分校

のトイレ、旧里見紙店の解体、大坂区の広場にあるシーソー、鉄棒の撤去です。

委員 消防費の備品購入

費についての説明を。地域安全係長 消防車用粉末消火器3本とそのリサイクル料、消防用ホース30本の購入代金で、消防用ホースの筒先の盗難が無いように先分団ごとに詰所と各地区の消化器具等を点検し、普段から注意するよう努めてる。

委員 中学生海外派遣事業については。

学校教育係長 この事業は、中学生10名と引率者で学校から2名、教育委員会事務局1名の計13名でオーストラリアのブリスベンに行きました。生徒ひとりあたりの事業費は、約40万円です。そのうち、参加者の負担金としてひとりあたり20万円負担してもらっておりま

す。引率者は、職務として参加しているの

で、旅費と日当を町費で支払いをしております。

委員 図書購入費は何冊

買っているのか。また、25年度処分したものはあるのか。

学校教育係長 小学校費は5冊と4セットです。中学校費は、294冊と48冊です。小中学校とも処分はありませんでした。

委員 中学校修繕料で、

ウッドデッキの撤去は何年経過し、どのような状態であったか。

委員 中学校修繕料で、

ウッドデッキの撤去は何年経過し、どのような状態であったか。

学校教育係長 中学建設と同時に建設したもので、10年はたつています。木材には防腐処理はしてありましたが、

風雨にさらされ腐食して危険になったので撤去しました。

委員 学校警備委託費に

ついては。

学校教育係長 夜間等の

職員がいなくときの警備について、セコムに委託している。外部から、出入口や窓から侵入者があつた場合など、センサーが感知し、警備会社に連絡がいく仕組みになっている。

委員 下小坂グラウンド

の今後利用については。

生涯学習係長 土地を借りていた4名の方からは、26年度に購入いたしました。当面はグラウンドとして使用はしないで、今後の利用計画が決まる迄は、防災用ヘリポート等として利用を考えています。

委員 からつ風駅伝大会

委託料について委託はどこにしているのか。

同様に町一周駅伝大会の委託はどこか。

生涯学習係長 町からつ風駅伝大会は町からつ風駅伝大会実行委員会に委託しています。町一周駅伝大会は町体育協会に委託しています。



空つ風駅伝

委員 ふるさとセンター

費委託料の中に「荒船風穴石積み詳細調査委託」333万9千円とあるが、2号風穴の石積み復旧はいつ行うのか。また、成果品はどんなものであり委託料は適正か。

文化財保護係長 石積み

の復旧だけのための調査ではなく周辺を含めた石積みの調査となっています。成果品はA

3サイズで29ページとなっており、簡易3D画像、オルソー画像のほか文化財の検知から修正が入れられて資料などから成っています。その他、石材の調査だけではなく温度測定、風速などの調査も含まれているため、この金額となっております。なお、入札により業者選定は行われています。

委員 荒船風穴に関連した工事発注について随
財政係長 緊急性や金額の関係もあり随意契約で発注いたしました。

委員 透明性も必要なので極力、随意契約は避けていただきたい。随意請負契約の手順について一定の決まりを作るべきとおもうがどうか。

財政係長 随意契約の方法について、一定のガイドライン作成を検討します。

委員 地域生活支援センター委託の内容は。



風穴石積み

福祉補佐 障害のある人が通い、創作活動、生産活動を提供し社会との交流促進を図る目的で、みのり支援センター、プレパレ、福祉作業所、くわのみハウス、ヌアリーベに委託しているものです。

委員 出会い交流事業について事業開催回数が減ってきている。続けていってほしい事業ではある。何か良い方向は見いだせないか。行政の専任係としてできないものか。

健康課長 少子高齢化対策ワーキンググループ内にて検討いたします。

委員 結婚祝い金の内容は。

福祉補佐 1組5万円で8組に対しての支出です。

委員 汚染状況重点調査委員会謝金の内容は。

環境係長 汚染状況重点調査委員会委員として、放射能専門である群馬県健康科学大学の倉石准教授を委嘱し、放射能対策で指導をいただいた報酬費（1日30,000円×5日分）です。

委員 汚染状況重点調査委員会の重点とは。

環境係長 国が除染の目安とする毎時0・23マイクロシールド（行政区平均値）を越える地域を「重点」と称しています。

国が除染の目安とする毎時0・23マイクロシールド以上については除染を実施し、すべての箇所において毎時0・23マイクロシールドを下回り成果は出ています。

委員 仮置場の現状は、**環境係長** 国の指導で、週1回の仮置場内放射

能測定と、月1回の地下水検査を実施し、安全管理を徹底している。

今後、仮置場に対する方針が国から示される予定であるが、その時期は未定ですが、国の方針に沿って対応します。



除染土壌仮置場

委員 シルバー人材センター運営事業業務委託費について。

商観補佐 社会福祉協議会に高齢者の就業機会の増大を図るために委託しています。

委員 有害鳥獣駆除対策で猿を7頭駆除したということだが、檻にかかったものか。

檻に入った猿以外の駆除は可能か。

農林係長 猿に関しては現状で檻に入ったものだけ、実害が多いので対策については県を含め検討している。

委員 林業作業道建設補助は事業費の何%くらいになるのか。

農林係長 3分の2になる。

委員 追払い車両レンタル料は今後も継続していくのか。緊急雇用の補助がなくなるとすれば購入した方が有利なのでは。

農林係長 補助としては県から2分の1は出ている。今後継続するかどうかは検討していく必要がある。

委員 商工振興費の買い物弱者支援事業補助金についてどんなことをしているのか。

商観補佐 商工会への補助金で、買い物サービス以上の高齢者宅に配りました。

高齢者に、配達・訪問・送迎サービスのできる事業所を掲載し配布した。

委員 ジオサイト中小坂鉄山整備活用計画策定業務委託について。

登録推進係長 下仁田ジオパークのジオサイトの1つである中小坂鉄山について、今後観光拠点等として施設整備や保存整備構想を玉野総合コンサルタントに依頼したものです。資料の収集から始まる一連のコンサルティングの委託料です。

以上で審議を終了し、賛成多数で、可決されました。



町民の声

バイブレーションテーブル現実化委員会

代表 田村 純一

この活動を通して様々な人のあたたかさに触れる事ができました。

音響、設営など120人以上の人がボランティアで、利他の為に行動してくれる事。

スポンサーである企業・個人も直接的な見返りなく賛同してくれる事。

官民の垣根を越え、役場の人も全力で協力してくれる事。

それだけで素晴らしいコミュニティだと思えます。

また、イベントに参加した3,500人に与える町の影響力、持ち帰った充実感、愛のベクトル

は地域社会的に大きな力です。

一般的に、同規模のイベントを成立させるには莫大な費用が必要ですが、スタッフ一同知恵を絞り、助け合い今日に至ります。

この体系は白川郷の茅葺き屋根の葺き替え等に見られる「結い」に通じます。

高度経済成長と過疎化で失われてしまった相互扶助の精神です。

バイブレーションテーブルというコミュニティに、町外からも同じ志を持った人達が集まり、相互信頼に繋がり、文字通り人と人を結ぶ。

イベントという目的そのものよりも、そこに向かう人達の心の結びつきにこそ価値があると再認識しました。

これからは共生・融合・愛の時代です。利己以外の目的で繋がり、与え合うコミュニティ。

ティ。

縦割りから横繋がり、パートナーシップによる組織へ。

下仁田の自然を有効活用し、「愛のある音楽祭で賑わう町」は実現可能です。

それは次の世代へ伝わり、やがては町や国の枠も越えて喜びを分かち合う時代が訪れる事を願います。

編集室から

9月定例議会は、役場耐震化工事のため文化ホールを議場として全員出席の中、審議、採決をまいりました。

平成25年度決算認定等すべての議案を可決いたしました。

今回、議会では、人口減少対策のための特別委員会を設置し調査検討をすることになりました。

また、議会だよりは、出来るだけ見やすく、読んでいただける紙面作りを心掛けておりますが、お気づきの点等がございましたら、ぜひ、お知らせをお待ちしております。

広報発行特別委員会
委員長 永井正之
副委員長 千野榮治
委員 原 秀男
岩崎正春
高瀬政信
佐藤勇二

議会だより・会議録を
ホームページでご覧下さい。
<http://www.town.shimonita.lg.jp/>
問い合わせ先：電話82-2111
(内線610番)



バイブレーションテーブル